



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

1/11
改訂日: 2019/10/02
印刷日: 2019/10/02

1. 製品及び会社情報

1.1 製品情報

製品名 キラップシードFS
製品コード (UVP) 79263392

1.2 推奨用途及び使用上の制限

使用 殺虫剤, 種子処理

1.3 安全データシート作成者

供給者情報 バイエルクロップサイエンス
株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5

電話番号 03-6266-7419

FAX番号 03-5219-9735

担当部門 生産本部 QHSEグループ

1.4 緊急時の連絡先

グローバルインシデント対応 +1 (760) 476-3964 (Company 3E for Bayer AG, Crop Science Division)
ホットライン (24時間対応)

2. 危険有害性の要約

2.1 物質または混合物の分類

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアルによる分類 (改訂4版)

急性毒性: 区分4

H302 飲み込むと有害。

水生環境有害性(急性): 区分1

H400 水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性(長期間): 区分1

H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

2.2 ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル (第4改訂版) による表示

供給/使用のための危険有害性の表示が必要である。

ラベルに表示されなければならない有害成分:

- エチプロール



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

2/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02



注意喚起語: 警告

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

P264 取り扱い後は手および顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P301 + P312 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
P330 口をすすぐこと。
P391 漏出物を回収すること。
P501 内容物／容器の廃棄は地域の規則に従い行うこと。

2.3 他の危険有害性

他の危険有害性は知られていない。

3. 組成及び成分情報

3.2 混合物

化学名又は一般名

種子処理用フロアブル剤 (FS)
Ethiprole 350 g/l

危険有害成分

名称	化学名	CAS番号 / 官報公示整理番号	濃度 [%]
エチプロール	5-アミノ-1-(2,6-ジクロロ- α , α , α -トリフルオロ-p-トリル)-4-エチルスルフィニルピラゾール-3-カルボニトリル	181587-01-9 8-(2)-2026	29.20
Polyarylphenylether sulfate, ammonium salt	poly (oxy-1,2-ethanediyl),.alpha.-sulfo.omega.-[tris (1-phenylethyl) phenoxy]-, ammonium salt	119432-41-6	> 1.0 - < 25.0
(Benzyloxy)methanol		14548-60-8	> 0.1 - < 1.00



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

3/11

改訂日: 2019/10/02
印刷日: 2019/10/02

3-Hydroxy-2'-methyl-2-naphthanilide		135-61-5 (4)-1002	>= 0.1 - < 1.0
1,2-Benzisothiazol-3(2H)-one	1,2-benzisothiazol-3(2h)-one	2634-33-5 (9)-1845	>= 0.005 - < 0.05
reaction mass of 5-chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one (3:1)		55965-84-9	> 0.00015 - < 0.0015
グリセリン	1,2,3-Propantriol	56-81-5 (2)-242	> 1.0

詳細情報

エチプロール	181587-01-9	M-ファクター: 100 (急性), 10 (慢性)
reaction mass of 5-chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one (3:1)	55965-84-9	M-ファクター: 100 (急性), 100 (慢性)

項目 4: 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

危険域から避難させる。直ちに汚染された衣類を脱がせ、安全に廃棄すること。症状が現れ継続する場合は、医師に相談してください。

吸入

新鮮な空気のある場所に移動する。

皮膚接触

石鹸と水で十分に洗い流すこと。

眼に入った場合

直ちに最低15分間は多量の水で洗い流す。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合は、嘔吐させずに医師の手当てを受けてください。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状

知られていないか予想されない症状。

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

取り扱い

局所治療: 症状に応じた治療を行う。

胃洗浄は通常必要ありません。しかし、多量（一口以上）に摂取した場合は、活性炭と硫酸ナトリウムを投与してください。特に解毒剤なし。症状に応じた治療を行う。



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

4/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤 水噴霧, 泡, 二酸化炭素 (CO₂), 粉末

使ってはならない消火剤 大型棒状の水

5.2 特有の危険有害性

火災が発生した場合、次のものが発生する可能性がある: 一酸化炭素 (CO), 窒素酸化物 (NO_x), 硫黄酸化物, 塩化水素 (HCl), フッ化水素

5.3 消防士へのアドバイス

消火を行う者の保護 火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。火災時には、自給式呼吸器を着用する。

詳細情報 消火剤の拡散を抑えること。火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項 漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。保護具を使用する。

6.2 環境に対する注意事項 地表水、排水口、地下水に入らないようにすること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去方法 乾燥した不活性吸収剤クレーを使用して、ポンプ輸送、吸入または吸収によって製品を回収する。製品を回収し、適切にラベルを貼って密閉した容器に移す。回収されたら「13. 廃棄上の注意」の記述にあるように取り扱うこと。

追加アドバイス ローカルサイトの手順についても確認してください。

6.4 参照すべき他の項目 安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。
個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。
廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項 開封されていない包装/容器を取り扱うときは特に注意する必要はない。関連するマニュアルハンドリングのアドバイスに従うこと。十分な換気を確保する。

安全取扱い注意事項 特別な予防措置は必要としない。



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

5/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02

衛生対策 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。作業の直後に手を洗い、必要に応じてシャワーを浴びること。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管場所および容器の必要条件 納品時の容器でのみ保管する。保管場所には、許可された者のみが入りする。乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器の栓をしっかりと閉めて保管する。直射日光を避ける。

一般的な保管について 食物、飲み物、飼料から遠ざける

適切な容器包装材料 HDPE（高密度ポリエチレン）

7.3 特定の最終用途 ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

項目 8: ばく露防止及び保護措置**8.1 管理濃度**

成分	CAS番号	管理濃度	更新日	基準
エチプロール	181587-01-9	0.2 mg/m ³ (TWA)		OES BCS*
グリセリン (吸入性粉塵)	56-81-5	2 mg/m ³ (TWA)	09 2015	JPJSOH OEL
グリセリン (総粉じん)	56-81-5	8 mg/m ³ (TWA)	09 2015	JPJSOH OEL

*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

8.2 曝露防止**保護具**

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

呼吸用保護具

呼吸用保護具は、EN140タイプAまたは同等物に適合する有機蒸気およびガスフィルターマスク（保護係数10）を着用する。

呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

手の保護具

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。

汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。飲食、喫煙、トイレの前には手をしっかり洗うこと。

材質 ニトリルゴム



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

6/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02

	透過度	> 480 min
	手袋の厚さ	> 0.4 mm
	防護指数	クラス 6
	指令	EN374に準じた防護手袋。
眼の保護具	欧州規格EN166(Field of Use;5)又は同等規格に適合する保護眼鏡を着用すること。	
皮膚及び身体の保護具	標準的なつなぎの作業着とカテゴリー3タイプ6の化学防護服を着用すること。 重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。 可能であれば、2層の衣類を着用すること。 ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。	
一般的な保護措置	適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。	

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

形状	懸濁液
色	赤色
pH	4.0 - 7.0 (100 %) (23 ° C)
引火点	引火点がないため、測定は沸点になるまで実施。
自然発火温度	430 ° C
密度	約 1.20 g/cm ³ (20 ° C)
水溶性	混和性
酸化特性	酸化特性なし
9.2 その他の情報	その他の安全性に関するデータなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

熱分解 通常の状態では安定。

10.2 化学的安定性 推奨保管条件下では安定。

10.3 危険有害反応可能性 規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

7/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02

- 10.4 避けるべき条件** 極端な温度と直射日光。
- 10.5 配合禁忌** 他の容器に移し替えて保管しないこと。
- 10.6 危険有害な分解生成物** 通常の取扱い条件下では分解生成物はなし。

項目 11: 有害性情報

11.1 毒性情報

- 急性毒性（経口）** LD50 (ラット) 1,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入）** LC50 (ラット) > 2.99 mg/l
ばく露時間: 4 h
- 急性毒性（経皮）** LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性** 皮膚 刺激なし (ウサギ)
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性** 眼 刺激なし (ウサギ)
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性** 皮膚: 皮膚感作性なし (マウス)
OECD Test Guideline 429、局所リンパ節検査 (LLNA)

特定標的臓器毒性－単回ばく露

エチプロール: 入手可能なデータによれば、分類されない。

特定標的臓器毒性－反復ばく露

エチプロール: 入手可能なデータによれば、分類されない。

変異原性

エチプロールは、in vitro及びin vivo試験における変異原性または遺伝毒性は認められなかった。

発がん性

エチプロールは、高用量レベルで次の器官で腫瘍の発生率が増加する原因となります: 肝臓, 甲状腺。げっ歯類で腫瘍を誘発する機構および観察される腫瘍の種類は、ヒトには関係しない。

生殖毒性

エチプロールは、ラットの2世代研究では生殖毒性を引き起こさなかった。

発生毒性

エチプロールは、母獣に毒性のない濃度では発達毒性が認められなかった。エチプロールにみられる発達毒性は、母体の毒性に関連している。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類されない。



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

8/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)) > 6.99 mg/l
ばく露時間: 96 h
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。LC50 (*Lepomis macrochirus* (ブルーギル)) 0.26 mg/l
ばく露時間: 96 h
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。

魚類に対する慢性毒性

Cyprinodon variegatus (シーブスヘッドミノー)
初期生活段階
最大無影響濃度: 0.00741 mg/l
ばく露時間: 35 d
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。

水生無脊椎動物に対する毒性

LC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)) > 8.33 mg/l
ばく露時間: 48 h
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。LC50 (*Mysidopsis bahia*) 8.2 μ g/l
ばく露時間: 48 h
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

最大無影響濃度 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.4 mg/l
ばく露時間: 21 d
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。最大無影響濃度 (*Americamysis bahia* (海産アミ類)): 0.0025 mg/l
ばく露時間: 28 d
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。

水生植物に対する毒性

ErC50 (*Raphidocelis subcapitata* (淡水性緑藻)) > 3 mg/l
成長速度; ばく露時間: 72 h
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。EC10 (*Raphidocelis subcapitata* (淡水性緑藻)) 2.74 mg/l
成長速度; ばく露時間: 72 h
記載の値は有効成分エチプロールに関連する。

12.2 残留性・分解性

生分解性

エチプロール:
急速分解性がない

Koc

エチプロール: Koc: 727

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性

エチプロール: 生物濃縮因子 (BCF) 10
生物濃縮なし



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

9/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02

12.4 土壤中の移動性

土壤中の移動性

エチプロール: 土壤中でわずかに移動する

12.5 PBT および vPvB の評価結果

PBT および vPvB の評価

エチプロール: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質（PBT）とはみなされない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質（vPvB）であるとは考えられていない。

12.6 その他の有害影響

生態系に関する追加情報

言及すべき他の効果はない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県および市町村の関連条例に従って処理すること。

14. 輸送上の注意

国内規則

鉄道および道路輸送	非該当
指針番号	171
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う。

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

IMDG

14.1 国連番号	3082
14.2 国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (ETHIPROLE SOLUTION)
14.3 輸送危険有害性クラス	9
14.4 容器等級	III
14.5 海洋汚染物質(該当・非該当)	該当

IATA

14.1 国連番号	3082
14.2 国連輸送名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (ETHIPROLE SOLUTION)
14.3 輸送危険有害性クラス	9
14.4 容器等級	III
14.5 環境危険有害性マーク	該当



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

10/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

詳細情報

WHO分類: クラスII (中程度に有害)

農薬取締法

登録番号 : 22883 (Bayer CropScience K.K.)

消防法

非該当

労働安全衛生法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

第2種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
5-アミノ-1- (2,6-ジクロロ-4-トリフルオロメチルフェニル) -4-エチルスルフィニル-1H-ピラゾール-3-カルボニトリル	3	29.2

16. その他の情報

- 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。
- 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。
- 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒110番 一般市民向け相談電話 (情報提供料:無料) 医療機関専用有料電話 (情報提供料:一件2,000円)

大阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999



キラップシードFS

版番号 1/J
102000018524

11/11

改訂日: 2019/10/02

印刷日: 2019/10/02

改訂理由:

セクション 2: 危険有害性物質の特定. セクション 3: 成分の情報と構成
セクション 8: 暴露管理/自己保護 第11項: STOT (特定標的臓器毒性) およびCMR (発がん性、変異原性および生殖毒性) に関する毒性情報。 項目 12. 環境影響情報.

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。